

三菱地所株式会社
三菱地所レジデンス株式会社
三菱地所ホーム株式会社
株式会社三菱地所設計

2018年度グッドデザイン賞 三菱地所グループ全体で13件受賞



GOOD DESIGN
AWARD 2018

- ・分譲マンション「ザ・パークハウス 西新宿タワー60」
- ・『そなえるドリル』ドナタデモプロジェクト
- ・グリーン付家具「ボタニカルファニチャー」
- ・旧名古屋銀行本店ビル (THE CONDER HOUSE) など

～三菱地所グループ16年連続の受賞～

三菱地所レジデンス株式会社、三菱地所ホーム株式会社および株式会社三菱地所設計は、2018年度グッドデザイン賞において、分譲マンション「ザ・パークハウス 西新宿タワー60」、「そなえるドリル」ドナタデモプロジェクト、グリーン付家具「ボタニカルファニチャー」、「旧名古屋銀行本店ビル (THE CONDER HOUSE)」など、合計13件が受賞しました。2015年度に並び、過去最多の受賞数です。

<2018年度グッドデザイン賞 受賞プロジェクト一覧 (全13件) >

【ザ・パークハウス 西新宿タワー60】

【ザ・パークハウス 中之島タワー】

【ザ・パークハウス 新宿御苑】

【蘆花公園 ザ・レジデンス】

【「そなえるドリル」ドナタデモプロジェクト】

【「各住戸玄関前宅配ボックス」を利用した集合住宅における新しい宅配システム】

【グリーン付家具「ボタニカルファニチャー」】

【ONE ORDER 浜田山ホームギャラリー】

【木造住宅最高レベルの高遮音床】

【旧名古屋銀行本店ビル (THE CONDER HOUSE)】

【グランモール公園再整備】

【横浜ゴム株式会社 研究開発センター第二ビル】

【X-PRESS 有楽町】



ザ・パークハウス 西新宿タワー60



ザ・パークハウス
中之島タワー



旧名古屋銀行本店ビル
(THE CONDER HOUSE)

グッドデザイン賞は、三菱地所グループとして、1998年度に「クイーンズスクエア横浜」で初めて受賞。2003年度からは16年連続の受賞となります。三菱地所グループは、今後も「人を、想う力。街を、想う力。」というブランドスローガンのもと、まちづくりを通じて社会に貢献していきます。

■受賞プロジェクトの紹介

<住宅事業グループ ～15年連続受賞～>

1. ザ・パークハウス 西新宿タワー60（三菱地所レジデンス）

ザ・パークハウス西新宿タワー60は、「西新宿中央北地区市街地再開発事業」（施行者：西新宿五丁目中央北地区市街地再開発組合）として計画されたマンションです。新たな入居者と共に活気溢れる街を作りたいという地権者の想いと、多世代が暮らすマンションのコミュニティに期待と不安を持つ新たな入居者の思いに応えるため、「新旧・多世代の入居者」「地域の人々」それぞれが愛着を持ち、出会い、つながりが育まれるマンションとして計画しました。つながりが育まれる場として「ENGAWA（エンガワ）」「結いの森」等、様々な人が足を運びたくなるユーティリティな共用施設を設えると共に、つながりを誘発する仕組みとしてコミュニティ支援プログラム「西新宿 CLASS in the forest」を企画。「場」と「仕組み」の2つのアプローチで、入居者だけでなく地域を含めたコミュニティ形成の実現を目指しました。

（評価コメント）

高級かつゲーテッドなイメージのあるタワーマンションは、しかし、それ故に近隣コミュニティと隔離していることが多い。しかし、この計画は、タワーマンションができるメリットを近隣にフィードバックし、タワーマンションの建設に伴って生み出された1900平米の外部空間を整備して、地域との接点としている点が評価できる。特にフォレストハウスとしての共用空間を森に面して配置し、多世代交流施設として計画している。この建物のゆったりとした空間構成も多目的な用途や居場所を想起させ、多面的な近隣との交流の機会を提供する可能性をもっているように思える。タワーマンションと近隣の創造的な接点としての新しいあり方を提示している。



● 「ザ・パークハウス 西新宿タワー60」概要

所在地：東京都新宿区西新宿5丁目700番（地番）

交通：東京メトロ丸ノ内線「西新宿」駅徒歩9分・都営大江戸線「都庁前」駅徒歩8分・
都営大江戸線「西新宿五丁目」駅徒歩7分・JR山手線「新宿」駅徒歩18分

構造・規模：鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）、地上60階地下2階建

住戸面積：33.90㎡～156.99㎡

総戸数：953戸（事業協力者住戸176戸含む）、その他事業協力者店舗15区画

売主：三菱地所レジデンス株式会社、相鉄不動産株式会社、丸紅株式会社

施工：株式会社フジタ

管理会社：三菱地所コミュニティ株式会社

竣工：2017年6月

2. ザ・パークハウス 中之島タワー（三菱地所レジデンス）

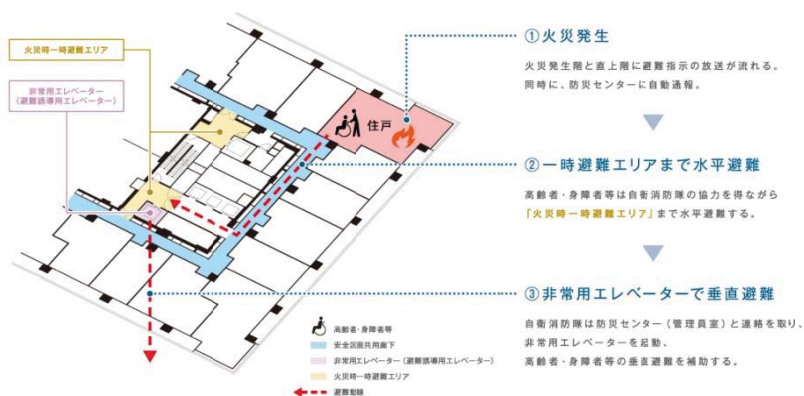
集合住宅では日本で初めて、火災時に管理スタッフと住民から構成される自衛消防隊による歩行困難者等の非常用エレベーターを利用した避難が可能となった超高層集合住宅です。火災時における歩行困難者等の避難安全を実現するために、大阪市消防局と議論を重ね、平面計画から防災設備や時間帯に応じた避難計画の運営体制等、実効性・安全性の高い避難計画を策定。この避難計画を住民が理解し、避難方法を習得することを目指し、所轄消防と連携した防災訓練の実施等、入居後サポートまでパッケージ化しました。互いに助け合うコミュニティの形成にもつながる。次世代都市型住宅のスタンダードとなることを目指しました。

（評価コメント）

社会が高齢化に向かう一方で災害の危機は増している中、避難計画は大きな設計の主題となっている。タワーマンションという限られた平面計画の中で、避難エレベーターへの活用は今後広く使われると予想される。ビジュアルには現れにくく、デザインという枠の中では地味に見えてしまうが、具体的な実績を作ったこと自体が素晴らしい。入居後のサポートまでパッケージ化されているとのこと、ぜひこの取り組みを続けて欲しい。

非常用エレベーターを活用した、安全な火災時避難計画

一時避難エリアや自衛消防隊を設けるなど、一定の条件を満たすことで、火災時の非常用エレベーターの利用が可能となり、高齢者・身障者等のバリアフリー化された安全な避難が確立されました。



● 「ザ・パークハウス 中之島タワー」概要

所在地：大阪府大阪市北区中之島6丁目1-31

交通：京阪中之島線「中之島」駅徒歩2分、
JR東西線「新福島」駅徒歩9分

構造・規模：鉄筋コンクリート造・地上55階建

住戸面積：40.77㎡～148.51㎡

総戸数：894戸

事業主：三菱地所レジデンス株式会社、
住友商事株式会社、
京阪電鉄不動産株式会社、
株式会社アサヒプロパティズ

施工：株式会社竹中工務店

管理会社：三菱地所コミュニティ株式会社

竣工：2017年10月

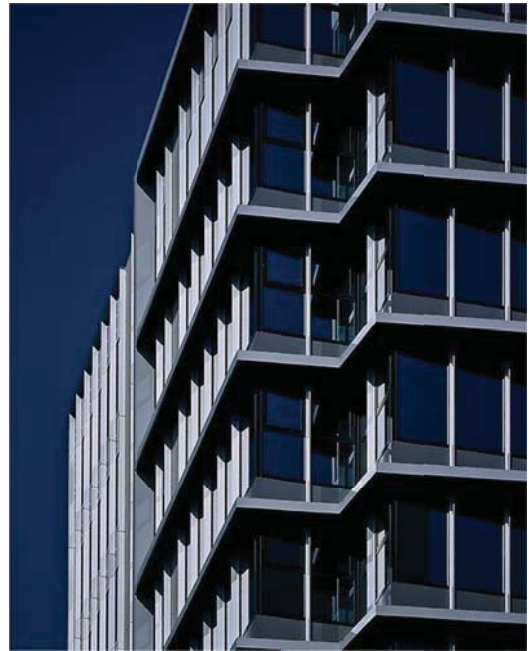


3. ザ・パークハウス 新宿御苑（三菱地所レジデンス）

「ザ・パークハウス 新宿御苑」は広さ約 58 万㎡の広大な新宿御苑に面しており、南向きの住戸からは新宿御苑の緑を一望できる、稀少な立地に位置する分譲集合住宅です。「新宿御苑に住まう」をコンセプトとして、立地の特性から、新宿御苑を「取り込む」「感じる」「溶け込む」という 3 つのキーワードを抽出し、環境を最大限享受しつつ景観に溶け込むことができる住宅であることを目標としました。バルコニー配置の調整・ガラス主体のファサード・バーチカルブラインド実装等の計画が目標を実現させる手段であり、結果としてこの地域にとっても街並みを望ましい形へと導いていくことのできる建築となったと考えています。

（評価コメント）

バルコニーを最小限にしてガラスファサードを街に向けたデザインが評価された。そのガラスファサードの効果で、都市の自然である新宿御苑に飛び込むような開口部ができており魅力である。また夜景では、垂直方向に伸びやかな光の連続が町を彩る効果が認められる。



● 「ザ・パークハウス 新宿御苑」概要

所在地：東京都新宿区新宿 2 丁目 1-15

交通：東京メトロ丸ノ内線「新宿御苑前」駅徒歩 1 分、
東京メトロ丸ノ内線・副都心線、都営新宿線「新宿三丁目」駅徒歩 6 分、
JR 中央線「新宿」駅徒歩 11 分

構造・規模：鉄筋コンクリート造・地上 14 階地下 1 階建

住戸面積：55.46 ㎡～100.63 ㎡

総戸数：52 戸

事業主：三菱地所レジデンス株式会社

施工：日本国土開発株式会社

管理会社：三菱地所コミュニティ株式会社

竣工：2017 年 10 月

4. 蘆花公園 ザ・レジデンス (三菱地所レジデンス)

このエリア固有の「ガーデンシティ」誕生のための、「地域をつなぐ」デザイン。公共の旧水路を挟んだ二つの敷地を、周辺沿道全域において、公共緑道の整備も含めた一体開発としました。その結果、官有・民有地をつなぐボーダレスな沿道景観をつくりだしています。周辺は公共緑地に加えて、屋敷林や点在する竹林など、民有地の緑も豊富なエリアです。戦後の都市化地域にもかかわらず受け継がれてきたそれらの「緑の地域資産」をつなぎ、グリーンネットワークを広げていくことで、自らの敷地をこえて、理想的な「ガーデンシティ」を形成する要の存在となることを目指した計画です。

(評価コメント)

計画で生まれた緑のほとんどを住民だけでなく、地域の人々が生活の中で自由に味わうことができる計画にしている点が素晴らしい。緑が多い計画は今回でも数多く見られたが、セキュリティ内に緑があっても見るだけのものにしかないばかりか、ともすると敷地内外で格差をつくりだしてしまう。この計画は緑を程よく周囲に開き、新しい居場所を地域に増やしている。こうした取り組みは、マンション住人と地域との関係づくりにも役立つだろう。



● 「蘆花公園 ザ・レジデンス」概要

所在地：[フォレストコート]	世田谷区粕谷 2 丁目 255-1 (地番) 他
[ブライトコート]	世田谷区粕谷 2 丁目 105-1 (地番)
交通：[フォレストコート]	京王線「芦花公園」駅徒歩 6 分、 京王線「千歳烏山」駅徒歩 10 分
[ブライトコート]	京王線「芦花公園」駅徒歩 7 分、 京王線「千歳烏山」駅徒歩 10 分
構造・規模：[フォレストコート]	鉄筋コンクリート造・地上 9 階建
[ブライトコート]	鉄筋コンクリート造・地上 8 階建
住戸面積：67.41 m ² ~94.25 m ²	
総戸数：389 戸 ([フォレストコート] 280 戸、[ブライトコート] 109 戸)	
事業主：三菱地所レジデンス株式会社、野村不動産株式会社、セコムホームライフ株式会社	
施工：長谷工・不二建設共同企業体	
管理会社：三菱地所コミュニティ株式会社	
竣工：2018 年 1 月	

5. 「そなえるドリル」 ドナタデモプロジェクト（三菱地所レジデンス）

協力： ザ・パークハウス 津田沼奏の杜、ザ・パークハウス 津田沼奏の杜テラス、
ザ・レジデンス津田沼奏の杜、ザ・レジデンス津田沼奏の杜テラス
三菱地所コミュニティ

子どもも大人も取り組める「そなえるドリル」を活用した防災の取り組み。問題を進めるごとに家族の会話があまれ大人も巻き込まれる要素を取り入れました。ドナタデモ使えるよう一般公開し、マンション居住者と共に使い方のアイデアを考え、より多くの方々からフィードバックを受けることで、防災活動の広まりに繋がると考えました。

（評価コメント）

まず、思わずページをめくって行って次々とドリルに答えたいくなる内容の楽しさが魅力的だ。さらに、家庭で、マンションで、学校で、行政で、様々な場面・形式で活用されうるドリル自体の自由度の高さも優れた点だろう。活用促進に向けた取り組みとしては、不動産ディベロッパーが手がけているため自社のマンションでの活用が見込めるという利点をもつだけでなく、オープンにすることで同業他社のマンションを含む広い活用につなげている点も素晴らしい。利用した人々からのフィードバックを反映させた次の展開にもますます期待したい。



様々なシーンで活用



90年の想い



三菱地所グループでは、1923年に発生した関東大震災以降、約90年にわたり大規模な防災訓練を実施しており、グループ全体で防災・減災に取り組んでいます。

写真は、関東大震災で丸の内に開設した臨時診療所。その壁には「ドナタデモ」と書かれています。この精神を受け継ぎ、世の中に役立つ防災活動を行っていきたくと考えました。

6. 「各住戸玄関前宅配ボックス」を利用した集合住宅における新しい宅配システム（三菱地所レジデンス）

マンション居住者の利便性向上および昨今のネット通販市場拡大等に伴う宅配物の再配達増加を緩和するため、三菱地所レジデンスとフルタイムシステム、宅配3社（日本郵便、ヤマト運輸、佐川急便）の3業種による相乗効果から生まれた新しい宅配システムです。①各住戸の玄関前に宅配ボックスを全戸分設置、②指定業者制の導入と履歴管理のできるICカードシステム利用によってセキュリティ性を担保、③その他運用ルールの取り決めによって、ユーザーの利便性向上に注力しました。従来の宅配ボックスや宅配に関する不満や問題を利用者・宅配業者双方の視点で解消する取り組みです。

（評価コメント）

宅配ボックスは、分譲の集合住宅では、すでに一般化しているが、それを各住戸の玄関前に設置することで、極めて高い利便性を実現している。これは、購買行動が、インターネット中心となり、その結果の宅配、そしてまた、夫婦が職をもち日中の居住者不在が当たりまえになったライフスタイルにとっては有意義な計画である。指定業者制を導入することでセキュリティを高め、ソフトとも連動した取り組みとすることで、強く居住者の利便性にコミットメントした計画として評価できる。



「各住戸玄関前宅配ボックス」を利用した 集合住宅における「新しい宅配システム」

三菱地所レジデンス フルタイムシステム サービス対応宅配会社 日本郵便 ヤマト運輸 SAGAWA

システム導入で実現すること。

利用者

各住戸専用の宅配ボックスが玄関前に設置されているから
重いものの受け取りもラクラク。



宅配業者

指定業者制を導入し専用ICカード利用可能。マンション内を自由に動けるため
配達の効率上がる。



様々な荷物の大きさを考慮した
十分なサイズを確保。



履歴履歴が記録されセキュリティ管理が可能。また指定業者であれば先に荷物が入っていたとしても
追加してボックスへ届けることが可能。



棚板がはね上げ式なのでゴルフバッグなどの
大きなものも収納可。

7. グリーン付家具「ボタニカルファニチャー」(三菱地所ホーム)

ストレスフルな現代社会、特に無機質な都会に暮らし、働く人たちが本能的に抱く「自然に囲まれて暮らしたい」という想いをかなえるべく、グリーンを住宅の中に取り込むことを着想し、インテリアプランツをプランニングの段階から家具と一体で考えるシステムとしてデザインしました。グリーンのプロと協働し、テーブルやベンチ、間仕切りとグリーンを組み合わせたボタニカルファニチャーを開発しています。住まう方の感じ方や緑視率、空間の使われ方を意識して、グリーンの種類、量、位置、照明や風の通り道をデザインし、誰でも簡単に手入れができるようにメンテナンスを簡略化しています。住み始めたその日からずっと花や緑に囲まれた暮らしを実現しました。

(評価コメント)

緑を人の暮らしによりよく取り入れるためのグリーン付家具。家を建てる時やリフォームの際に同時に計画をするところがポイント。コンサルタントはきめ細かに考えられており、グリーンを取り入れる上での水遣りや手入れなどネガティブな要素は設備側で配慮されている。手をかけて育てたい人、忙しい人など、様々な要望に合わせて植物を選んでもらえる。



家中どこにいても自然を感じられる安らぎのある場



毎日使う玄関で家族を迎えるガーデンテーブル



水と植物を身近に感じる公園のようなリビング



仕切り過ぎない緑のパーテーション「グリーンシェルフ」

8. ONE ORDER 浜田山ホームギャラリー（三菱地所ホーム）

低層住宅エリアで、街との緩やかなつながりを楽しむ戸建住宅のプロトタイプとしてのモデルハウスです。街に向かって開くパブリック性の高いリビングルームのコーナー部には、2×4 工法で初めて可能となった8m の連続両面大開口を設け、内外の境界線をなくした開放的な空間を創造しています。また、プライバシー性が高い2階の個室ゾーンは開口部を囲むようにエコースクリーンを設け、外部視線を制御しながら外観に表情を生み出しています。住み手が街とつながりながらも、適度な距離感を保つことができ、道路側からは歩行者視点で変化に富んだ表情が楽しめる外観デザインとすることで、街並みの活性化を目指しました。

（評価コメント）

構造フレームの開発により、2×4 工法でありながら8m の連続大開口を実現し、街とのつながりを生み出そうとした点が高く評価できる。2×4 工法は壁量と開口制限により、開放的な空間が作りにくい点がマイナス要素となりがちであるが、従来の2×4 工法のイメージを一新するものとなっている。今回は専用住宅のリビング部分に大開口が用いられているが、店舗併用住宅や非住宅への採用も考えられるのではないかとと思う。今後の展開に期待したい。



両面の長さ合計で8mを可能にする連続両面大開口



街に向かって開くパブリック性の高いリビングルーム



まるで公園を散歩しているような感覚を家の中でも楽しめる



エコースクリーンによって落ち着いた寝室

● 「ONE ORDER 浜田山ホームギャラリー」概要

所在地：東京都杉並区高井戸東 3-16

構造・規模：ツーバイフォー工法・地上2階建

敷地面積：318.03 m²

延床面積：241.26 m²

竣工：2018年5月

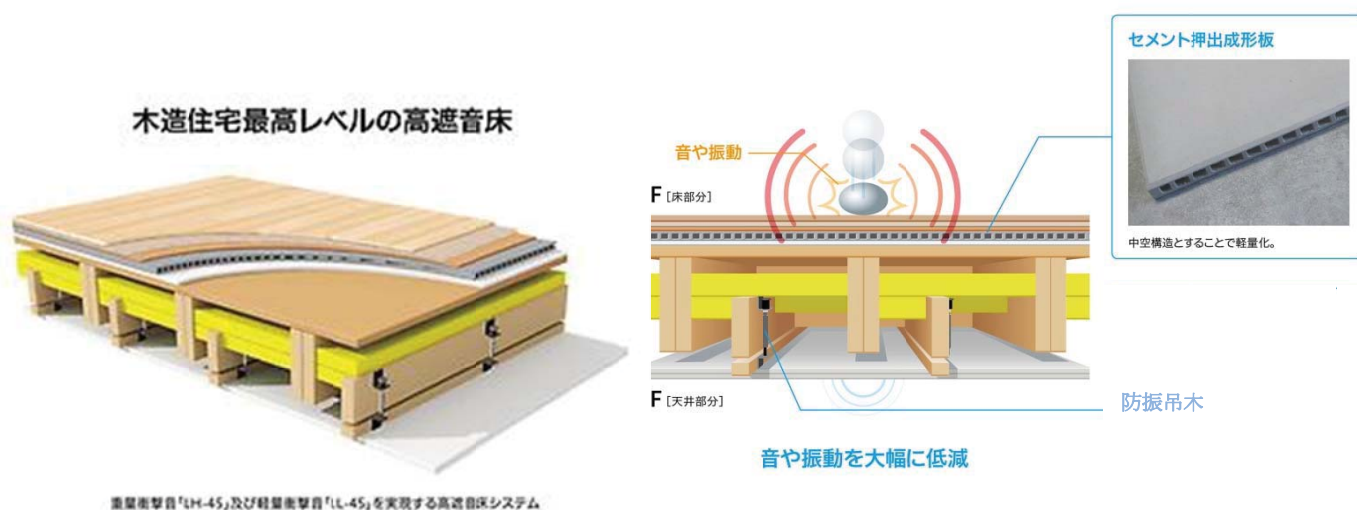


9. 木造住宅最高レベルの高遮音床（三菱地所ホーム）

近年戸建て住宅の用途の多様化に伴い、戸建て住宅においても下階に伝わる生活音が問題視されており、従来の床材よりさらなる性能向上を目指した高遮音床を共同開発しました。木造建築では最高レベルの重量衝撃音「LH-45」及び軽量衝撃音「LL-45」を実現し、子どもが飛び跳ねるような大きな衝撃音の大幅低減が可能となりました。窯業系建材を主に製造する神島化学工業の技術を用い、最高レベルの遮音性能を実現しながらも、軽量化・施工の簡略化・低コスト化を図っています。一般的な2×4建築で使用できる床構造とし、他メーカーの住宅やリフォーム工事にも対応可能な非常に汎用性が高い製品です。

（評価コメント）

押出成形セメント板を中心に板材を積層した床パネルと、高減衰ゴムを用いた防振吊木による天井を組み合わせ、木造住宅としては最高レベルの遮音性能を、比較的簡易に実現しているところが評価できる。様々な非住宅用途にも木造が採用されつつある今日、床衝撃音を中心とする床の遮音性能はこれまで以上に求められるようになっており、時宜を得た構法であるため、今後の普及が期待される。



高遮音床システムの床材層構成断面画像



高遮音床システムの床材層構成断面拡大画像



軽量化を図りながら高遮音性能も併中空構造のセメント系パネル

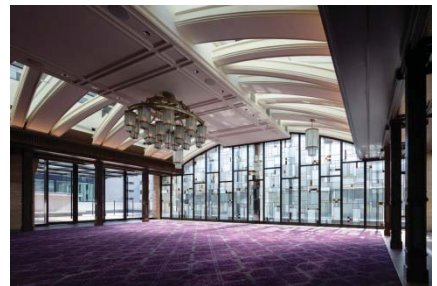
<設計監理事業グループ>

10. 旧名古屋銀行本店ビル (THE CONDER HOUSE) (三菱地所設計)

名古屋の伏見エリアにおける、名古屋と栄の賑わいをつなぎ、地域の活性化を目指した再開発プロジェクトです。1926年に竣工して以来、長年にわたり地域に親しまれてきた歴史的建築物・旧名古屋銀行本店ビルを保存・改修し、レストラン・ウェディング・ブライダル施設へ用途変更をしました。失われゆく都市の近代建築を活用するための手法として、①事業が成り立つ②安全に快適に使える③建築物の価値を見極めるといった3つのキーワードを軸において設計し、100年後も利用され愛され続ける建築を目指しました。閉ざされていた歴史的建築に再び明かりが灯り、地域の人々に利用され、街への賑わい創出に貢献することを願い、リ・デザインしました。

(評価コメント)

地域に慣れ親しまれてきた歴史的建築物を用途変更をして活用するために保存・改修された建築。銀行からレストラン、ウェディング、チャペルという大幅な用途変更に対して、通りに向けた近代建築の魅力的な外観を担保しつつ、事業に対する配慮も怠らなかったという点が評価できる。



● 「旧名古屋銀行本店ビル(THE CONDER HOUSE)」 概要

所在地：愛知県名古屋市中区錦二丁目 20 番 25 号

構造・規模：鉄筋コンクリート造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造

地上 6 階、地下 1 階、塔屋 1 階建

敷地面積：1198.56 m²

延床面積：4875.96 m²

竣工：2018 年 2 月

11. グランモール公園再整備（三菱地所設計）

この公園の重要な特徴「約 700m の全長にわたりさまざまな用途の建築敷地に接し、かつ開かれている」ことを生かし、基本構成としてパブリック領域（公園）とプライベート領域（隣接敷地）の接点に中間領域「テラス」を設定しました。これにより人々をそぞろ歩きへ誘い、屋外のパブリック空間の価値を発見してもらうことで、公園がこれからの街をけん引する原動力になると考えました。さらに、公園という都市施設に積極的にグリーンインフラを導入しました。貯留砕石路盤に保水性舗装や樹木、水景を組み合わせ、大きな水循環の仕組みを構築するとともに、ペイジメント、クレーチング、ファニチャー、照明などのさまざまな施設のディテールに統一して表現することに努めました。

（評価コメント）

全長 700m にも及ぶグランモール公園の再整備計画。敷地は横浜美術館と MARK IS みなとみらいに挟まれた一等地であり、逆にデザインとして非常に難しい場所である。中央を大きく開け、通り抜けられるようにするとともに、美術館側には大きな芝生広場を、MARK IS 側には樹木を追加して小さなスペースに分割し、全体としてまとまった美しい空間をデザインしつつもヒューマンスケールにおいては個々に気持ちのよい場所を用意してある。上質で大人な計画。

- 「グランモール公園再整備」概要
- 所在地：神奈川県横浜市西区
みなとみらい3丁目
- 敷地面積：23,102 m²
- 竣工：2017年3月



12. 横浜ゴム株式会社 研究開発センター第二ビル（三菱地所設計）

本計画は世界的タイヤ・ゴムメーカーである横浜ゴムの平塚製造所内に建つ研究開発施設であり、様々な部門が集結し各フロアで最先端の研究開発に取り組んでいます。研究者の分野・所属の垣根を越え、異なる専門領域に属する研究者が融和して新しい発想や技術を生み出すため、研究空間をつづら折り状につながるワンルームのイノベーションエリアとして設計し、外装も内部機能と呼応する形状として計画しました。異なるフロアに入居する部門毎の心理的な壁を無くして研究者相互の自然なコミュニケーションを促し、異なる専門知識の掛け合せが生じ新たなイノベーションが生まれるワークプレイスを目標としました。

（評価コメント）

一見すると、社業を連想させる捻りが加えられたルーバーに目が行ってしまうが、実はその背後に仕込まれた、つづら折り状に全体を貫く空間で、多層でありながら一つつながりになったワークプレイスの形成を狙っている意欲作である。魅力的にデザインされた空間ではあるが、応募書類からは動線空間を超えたワークプレイスとしていかなる工夫が加えられ、それがどういった変革をワークプレイスに創出しているかが読み取りづらく、その点が残念であった。



●「横浜ゴム株式会社 研究開発センター第二ビル」概要

所在地：神奈川県平塚市追分 1-1 他

構造・規模：鉄骨造 地上 7 階

敷地面積：260,000 m²

延床面積：3,900 m²

竣工：2017 年 11 月

13. X-PRESS 有楽町（三菱地所設計）

計画地は交通インフラである JR 高架と高速道路に挟まれた、角の尖った鋭利な形状です。またオフィス街の日比谷と繁華街の銀座に挟まれ、都市の活気に満ち溢れた有楽町の南端にあります。この敷地環境を最大限に生かすことがテーマとなりました。JR 高架を走る新幹線や高速道路に調和する水平線を基調としたスピード感のある外装デザインを目指しました。曲面形状によってプロポーションを変えながら連続する開口部は、周辺への眺望を確保しつつ採光や換気による自然エネルギーの有効活用を図りました。街の歩行者動線としては、貫通通路や南北のエントランスにより回遊性を持たせ、カオスのような高架下の横丁と対比する景観を生み出しました。

（評価コメント）

敷地が、特異な形状を持ちかつ高速から至近にあるという、ともすればオフィスビルにとって不利側の条件を的確にとらえて、特徴的なボリューム感に曲面を組み合わせた、端正でありながら印象的で美しいファサードとそれにマッチしたスレンダーな立ち姿といったデザインにむずびつけた作品。首都高速道路から見た時のインプレッションは、同種、同規模のオフィスビルの中で際立っている。

●「X-PRESS 有楽町」概要

所在地：東京都千代田区有楽町 2-2-1

構造・規模：鉄骨造（一部鉄骨鉄筋コンクリート造）
地上 12 階 地下 1 階 棟屋 1 階

敷地面積：723.6 m²

延床面積：7,178.19 m²

竣工：2017 年 6 月



<参考>

●三菱地所グループ グッドデザイン賞受賞実績

1998 年度 「クイーンズスクエア横浜」

2000 年度 「丸の内仲通り」

2001 年度 「国立室戸少年自然の家海望台」

2003 年度 「丸の内ビルディング」

2004 年度 「M.M.TOWERS」「日本テレビタワー」「品川セントラルガーデン」

2005 年度 「ザ・フィネスト上野毛パークハウス」「洗足池スタイルハウス」「フォレスト南平台」

「ザ・ハウス南麻布」

2006 年度 「井の頭公園パークハウス吉祥寺南町」「追手門学院大学守衛所」
「明治安田生命ビル街区再開発」

2007 年度 「セントラルガーデン・レジデンス」「ザ・ステージオ（共同事業）」
「読売北海道ビル」「オンワード仙台支店」「国際文化会館」「横浜ベイクォーター」「新丸ビル」

2008 年度 「M.M.TOWERS FORESIS」「CAPITAL MARK TOWER（共同事業）」
「成蹊大学情報図書館」

2009 年度 「本郷パークハウス ザ・プレミアムフォート」「The Kitahama」

2010 年度 「パークハウス フォレストリエ」「パークハウス 木々 津田沼前原」
「パークハウス瀬田一丁目」「スタイルハウス目黒緑が丘」
「ミッドオアシスタワーズ」「パークハビオ駒沢大学」「soleco（ソレッコ）」

2011 年度 「パークハウス吉祥寺 OIKOS」「パークハウス江ノ島」「豊洲フロント」「大鉄工業本社ビル」
「成蹊学園キャンパス」

2012 年度 「ザ・パークハウス 茅ヶ崎東海岸南」「ザ・パークハウス 六番町」
「5つのアイズ」「スマイラボ」「八事山興正寺 境内整備計画Ⅰ」

2013 年度 「ザ・パークハウス 池田山」「東洋文庫」「熊谷商工信用組合本店」

2014 年度 「丸の内仲通り」「MARK IS みなとみらい」「『はらくつつい東北』シリーズ」
「ザ・パークハウス 代官山レジデンス」「ザ・パークハウス 渋谷美竹」
「ザ・パークハウス 戸塚」「ドレッセ世田谷桜レジデンス（共同事業）」
「スーパータックフィット MNT（共同事業）」
「全館空調エアロテックのダクトレイアウトシステム」、「制震賃貸住宅エムアセット」

2015 年度 「ザ・パークハウス グラン 千鳥ヶ淵」ベスト 100 受賞
「マンションのランニングコストの見える化『マンション家計簿』」ベスト 100 受賞（グッド
デザイン・未来づくりデザイン賞受賞）
「築古ビルのバリューアップ転貸事業『Re ビル』」ベスト 100 受賞
「ザ・パークハウス グラン 三番町」「ザ・パークハウス 上鷺宮」
「ザ・パークハウス 追浜」「SKYZ TOWER&GARDEN（共同事業）」
「パークハビオ赤坂タワー」「西新宿 CLASS in the forest」「プレーン・ルームズ」
「そなえるカルタ」「BIO NET INITIATIVE」「脇浜寮」

2016 年度 「ザ・パークハウス 晴海タワーズ」「賃貸物件の無人内覧サービス」
「遊休資産となった社宅再生転貸事業」「新築分譲マンションのための研究開発手法」
「渋谷董友ビル」「本社ビル+企業ミュージアム『安川電機みらい館』」
『オーダーグラン』駒沢ステージ2 ホームギャラリー」

2017 年度 「ザ・パークハウス グラン 南青山」「ザ・パークハウス 市谷甲良町」
「ザ・パークハウス 東陽町レジデンス」「プレイスヴィアラ喜多見」
「BAYZ TOWER&GARDEN」「集合住宅向け PC 工法のシリーズ化」
「空気の価値化『新マンションエアロテック』」「住まいの中に、木の小部屋『箱の間』」
「大手町フィナンシャルシティ グランキューブ」「星のや東京」

2018 年度 「ザ・パークハウス 西新宿タワー60」「蘆花公園 ザ・レジデンス」
「ザ・パークハウス 中之島タワー」「ザ・パークハウス 新宿御苑」
『そなえるドリル』ドナタデモプロジェクト」
『各住戸玄関前宅配ボックス』を利用した集合住宅における新しい宅配システム」
「グリーン付家具『ボタニカルファニチャー』」「ONE ORDER 浜田山ホームギャラリー」
「木造住宅最高レベルの高遮音床」「旧名古屋銀行本店ビル(THE CONDER HOUSE)」
「グランモール公園再整備」「横浜ゴム株式会社 研究開発センター第二ビル」
「X-PRESS 有楽町」

以 上